

2021年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 愛知県予選

1. 主催 (一社)愛知県柔道連盟
2. 日時 令和3年6月5日(土)
3. 会場 愛知県武道館 第2競技場・第3競技場
4. 大会役員
 - (1) 会長 河原 月夫
 - (2) 副会長 平野 等 加藤 博 河合 孝
 - (3) 競技
 - ① 強化部長 松本 宣子
 - ② 強化委員長 石田 輝也
 - ③ 強化副委員長 田嶋 之貴
 - ④ 強化委員 藤山 茂 芳森 信吾 伊東 朝樹 高濱 克有
三宅 恵介 山本 典実 後藤 邦仁 大瀧 徹士
 - ⑤ 審判長 上野 義行
 - ⑥ 審判員(順不同)

早川 太啓	片岡 研人	前 保幸	下田 英樹	大瀧 徹士
山下 成己	森 有利	山下 幸司	中田 一喜	長谷川 真樹
内田 和之	松下 泰夫	藤山 茂	野田 大介	石本 克泰
尾関 俊長	徳田 大輔	田中 翔太	松本 幹大	伊藤 大
中神 正紘	杉原大一郎	岳川 大輝	竹市 慈俊	平岩 亜扇
後藤 邦仁	堀部 勝昭	浅野 光秀	表木 義博	石田 雅明
土川 一克	安井 正樹	壇上 竜二	川波 徹	笹瀬 貴司

5. 入場制限

- (1) 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策のため、試合場に入場できるのは、選手、監督・コーチ(*2名まで)、審判員、大会役員、補助員のみとする。**選手以外の入場者は、受付時に ID カードを受け取り、会場内では ID カードが見えるように携帯すること。**試合に出場しない者や保護者等は入場することはできない。また、**打ち込み相手の入場については、「8.進行」を参照のこと。**
 - ※ 派遣審判員は監督・コーチ扱いとはしないため、派遣審判員以外に各所属2名まで入場可とする。
 - ※ 男女出場するチームにおいても、男女あわせて監督・コーチは2名までとする。
 - ※ 午前と午後で監督・コーチは交代しても構わないが、最大2名の制限は厳守すること。
- (2) 大会当日、37.5℃以上ある者は会場へ入場できない。発熱が無い者でも、倦怠感、息苦しさ、咳、咽

頭痛等の自覚症状のある者は会場へ入場できない。

- (3) 試合場に入場する者は、大会前2週間分の体調管理チェックシートを提出すること。チェックシートが提出できない者は入場不可とする。

6. 試合方法

【大会要項からの変更について】

試合方法について、緊急事態宣言が延長されたことにより、十分な感染症対策が必要となります。そのため、「8.進行」で示す通り、分散開催とします。これにより、感染症対策および大会運営上の観点から、当初示した大会要項から試合時間や勝敗決定方法を変更いたします。緊急事態宣言下であることをご理解いただき、変更についてご了承ください。

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。
- (2) 試合時間はすべて3分間とする。
- (3) 準々決勝までは、技によるスコアの差が無い場合で指導差が1以上ある場合は、指導の少ない方が勝者となる。また、指導差も無い場合は旗判定によって勝敗を決する。(準々決勝まではゴールデンスコア方式は適用しない)
- (4) 準決勝および決勝は、技によるスコア差が無い場合は、指導差に関わらず時間無制限のゴールデンスコア方式により勝敗を決する。ゴールデンスコアでは、一方の試合者が技によるスコアを得るか、一方の試合者が反則負けとなった時点で勝敗を決する。
- (5) 試合はトーナメント戦で行い、3位決定戦は実施しない。
- (6) 呼び出しても選手が現れない場合、場内放送をかけて30秒を過ぎても試合場に現れない場合は「棄権」とする。
- (7) 監督、コーチは試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に指示を与えることができる。試合続行中は指示を与えることはできない。

7. 柔道衣コントロール

- (1) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
 - ① 上衣・下穿
 - (ア) 外枠が赤色のIJFラベルがついているもの
 - (イ) 赤色のIJFラベルがついていない場合
「JU0000」と赤字で表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの
 - ② 帯
 - (ア) IJFラベルがついているもの外枠の色は赤・青どちらでも可
 - (イ) IJFラベルがついていない場合
「JU0000」と表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの 赤・黒どちらでも可
- (2) 柔道衣は白色のみを使用し、背部に規定のサイズのゼッケンが縫い付けてあること。

8. 進行

今大会は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策を十分に施して行う。そのため、以下の通り、午前と午後の入れ替え制で実施する。

(1) 午前 該当階級・・・男子60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級

- ① 審判員受付 9:00～
 - ※ 2階受付でチェックシート提出後、ID カードを受け取る。
 - ※ 会場設営および計量の準備を行う。
- ② 入場開始時間 9:30～ (会場準備の状況によって遅れる場合もあり)
- ③ 受付 9:30～10:00(2階柔道場入口にて参加費を納入すること)
 - ※ 後半に出場する選手の分も含め、所属ごとにまとめて納入すること。
 - ※ 監督・コーチはID カードを受け取ること。
- ④ 計量 9:40～10:10 各試合会場にて実施する。
 - ※ 計量時に各自で体調管理チェックシートを提出すること。時間内に提出できない場合は失格となる。
- ⑤ ウォームアップ
 - (ア) 計量が終わった選手からアップを始めてよい。
 - (イ) 同所属の選手が他のフロアにいる場合は、フロアを移動してアップを行ってよい。
 - (ウ) 下記のチームは、前半実施階級に同所属から1名しか選手が出場しないため、1名の打ち込み相手の入場を認める。打ち込み相手も、選手が計量する際に一緒に体調管理チェックシートを提出すること。提出できない場合は会場外へ退出すること。

該当チーム・・・名古屋西高、碧南高

2階	第3 試合場	第4 試合場	第5 試合場
	男子73kg級	男子81kg級	男子90kg級
1階	第1 試合場	第2 試合場	/
	男子60kg級	男子66kg級	

- (ア) 各試合会場にて、準々決勝まで実施する。
- (イ) 準決勝に残った選手(BEST4)は2階に集合し、第3～第5 試合場で準決勝以上を実施する。(1階審判員も、準々決勝まで終わったら2階へ移動する)
- (ウ) 準々決勝までに敗退した選手は、すみやかに着替えて会場外へ退出すること。

(2) 午後 該当階級・・・男子 100kg 級、100kg 超級、女子全階級

- ① 入場開始時間 13:00～ (会場準備の状況によって遅れる場合もあり)
- ② 受付 13:00～13:30(2階柔道場本部にて、参加費を支払うこと)
 ※ 女子または男子の 100kg、100kg 超に出場するチームのみ
 該当チーム・・・一色高、啓明学館高
- ③ 計量 13:10～13:40 男子 100kg、100kg 超は各試合会場にて実施する。
 女子は柔道場横の第3会議室にて実施する。
 ※ 計量時に各自で体調管理チェックシートを提出すること。時間内に提出できない場合は失格となる。
 ※ 午前の試合進行状況によって、計量開始時間が変更となる場合もあるが、13:10 よりも計量開始時間を早めることはしない。
- ④ ウォームアップ
 (エ) 計量が終わった選手からアップを始めてよい。
 (オ) 同所属の選手が他のフロアにいる場合は、フロアを移動してアップを行ってよい。
 (カ) 下記のチームは、後半実施階級に同所属から1名しか選手が出場しないため、男女それぞれ1名の打ち込み相手の入場を認める。打ち込み相手も、選手が計量する際に一緒に体調管理チェックシートを提出すること。提出できない場合は会場外へ退出すること。
 男子該当チーム・・・一色高、至学館大 女子該当チーム・・・星城大、トヨタ自動車、一色高
- ⑤ 開会式および審判会議は実施しない。
 ※ 各所属で、今大会の確認事項について周知徹底しておくこと。
 ※ 各試合場において、13:50 に審判打ち合わせを行う。
- ⑥ 試合開始 14:00～
- ⑦ 試合場 各階級の試合会場は以下の通りとする。

	第 3 試合場	第 4 試合場	第 5 試合場
2階	女子 48kg 級 女子 52kg 級	女子 57kg 級 女子 78kg 超級	女子 63kg 級 女子 70kg 級
1階	第 1 試合場 男子 100 kg 級	第 2 試合場 男子 100 kg 超級	

- (エ) 各試合会場にて、準々決勝まで実施する。
- (オ) 女子 78kg 級はリーグ戦となるため、準決勝以上から開始する。
- (カ) 準決勝に残った選手(BEST4)は2階に集合し、第 3～第 5 試合場で準決勝以上を実施する。(1階審判員も、準々決勝まで終わったら2階へ移動する)
- (キ) 準々決勝までに敗退した女子選手は、すみやかに着替えて会場外へ退出すること。1階の男子選手は会場片付けがあるため、敗退した選手も会場内で待機しておくこと。

9. 感染症対策

- (1) 選手(打ち込み相手も含む)および監督・コーチは、感染者および濃厚接触者でないこと。また、所属内で新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が判明した場合は、保健所等の指示に従うこと。
- (1) 会場出入口は一方通行とするため、逆行したり、出入口付近で密集することが無いようにすること。
- (2) 選手は、試合時以外は必ずマスクを着用すること。監督・コーチおよび審判員もマスクを着用すること。
- (3) 試合時にマスクを外す時は、自分のマスクを袋やケースに入れて、試合場に設置してあるマスク置き場に置くこと。
- (4) 試合の前後には、試合場に設置してある消毒液で手指消毒を必ず行うこと。
- (5) 試合場(畳)に上がる際には、試合場に設置してある足裏消毒用マットで足裏を消毒すること。
- (6) 審判員や補助員も畳に上がる際には同様に消毒用マットで足裏消毒を行うこと。その際、靴下のまま消毒を行ってよい。(消毒液は速乾性ですぐに乾く)
- (7) 試合待機時は観覧席にて他者と十分距離を取り、密集せずに待機すること。また、声を出しての応援は慎むこと。
- (8) 畳の消毒は、1回戦開始前および準決勝開始前に行う。また、午前の決勝終了後に2階は再度消毒を行う。
- (9) 試合で敗退した選手は、すみやかに着替えて会場外に出ること。ただし、準決勝以上に進出した選手は表彰式があるため、敗退しても会場内で待機すること。また、午後の1階で行う 100kg および 100kg 超級の選手は、会場の片付けを行うため、敗退しても会場内で待機すること。

10. 会場内動線

- (1) 選手は直接、各試合場に入場すること。
- (2) 男子は観覧席で更衣し、女子は更衣室で更衣をした後、荷物を観覧席の待機場所に置いておくこと。
- (3) 試合時には、呼び出しがあるまでは観覧席で待機すること。呼び出された選手は標識帯を受け取り、板の間で待機すること。
- (4) 試合場(畳)へ上がる際には、右図のように移動すること。

